

平成30年度学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会
バスケットボール競技大会 埼玉県予選決勝リーグ

2018. 6. 25

	正智深谷	V S	埼玉栄	
	22		15	
88	24		6	56
	31		14	
	21		21	

第1P、両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタートする。序盤、正智深谷は#5、#8のドライブインやミドルシュートでリードする。埼玉栄は#2の1対1からのミドルシュートと#23のペイントエリア内のシュート、リバウンドシュートで点数を重ねていった。残り4分過ぎて正智深谷#4のポストプレー、アウトサイドでの3Pと連続得点し22-15正智深谷リードで終了。

第2P、正智深谷はマンツーマンディフェンス。埼玉栄はディフェンスを1-2-2のゾーンに変えてきた。埼玉栄は#21と#23のインサイドにボールをあつめるが、正智深谷の対応したディフェンスにシュートが決まらず、アウトサイドに展開しても厳しいシュートになり正智深谷にリバウンドを取られ走られてしまい#4、#7のレイアップシュート、3Pと引き離しにかかる。流れを切りたい埼玉栄はタイムアウトを2回使って修正を図るが上手く機能せず流れは戻らなかった。

第3P、正智深谷はマンツーマンディフェンス。埼玉栄は1-2-2のゾーンディフェンス。序盤から正智深谷は早いボール運びから#5、#7、#8ドライブイン、3Pと得点を伸ばして行く。どうにか点差を縮めたい埼玉栄はエースの#2のシュートと#23のゴール下シュートで得点するが、正智深谷の勢いは止められず67-35で終了。

第4P、両チーム得点の取り合いながら時間が進んだ。残り6分過ぎた所で正智深谷は5人交代をした。リバウンド力は互角であった。埼玉栄も追い上げるチャンスがあったが、最後までその点差は縮まることはなく試合が終了した。

記入者 大久保 英人